

広報 にしあわくら

8

2013(平成25年)
No.603

～受け継がれてきた西栗倉の森林～
私たち^{もり}も
「百年の森林づくり」を体験!!



梅雨明けのニュースが流れた午後、真夏の太陽が照りつける中、西栗倉中学校生徒全員が村内の山林に入り、下草刈り作業体験を行いました。下草刈り作業は、暑い時期に行う一番きつい作業であり、西栗倉の百年の森林づくりには大切な作業です。森林づくりに携わる方のがんばりを生徒達は感じてくれたことでしょう。

● 今月号の広報

- ラオス植林祭報告・・・・・・・・・・ 2～4
- 特別警報について・・・・・・・・・・ 5
- もりもりぷれす・・・・・・・・・・ 6～7
- スポーツピックス・・・・・・・・・・ 8
- 元気いっぱいにしあわくらっ子、村職員採用試験・・・ ほか



美作国建国1300年

村のホームページ <http://ns.vill.nishiwakura.okayama.jp/>



ラオス 植林祭へ 西栗倉村から4名を派遣

5月31日から6月3日まで、ラオス人民民主共和国挙げての植林祭に、本村より4名を派遣しました。

今回の訪問は、昨年9月にラオス農林省と森林管理や農業等の協力体制についての覚書の締結を契機に交流を深めてきました。そして、今回、ラオスの農林省から、唯一協力覚書をもつ外国の地方自治体である西栗倉村にぜひ参加してほしいという招待をいただき植林祭に参加する事になりました。

訪問団一行は、5月31日に西栗倉村を出発し、ベトナム（ハノイ）



を経由し、ラオスの首都ビエンチャンに到着しました。6月1日はビエンチャンから車で3時間ほど行った県北部にある農林技術センターで植林祭が行われました。この、農林技術センターは、日本のODAでつくったものです。

（※ODAとは、Official Development Assistance（政府開発援助）の頭文字を取ったもので、政府または政府の実施機関によって開発途上国または国際機関に供与されるもので、開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に役立つために行う資金・技術提供による公的資金を用いた協力のこと。）

記念式典では、「ラオスと西栗倉村が交流を重ね、ともに協力し、森林の持つ機能の大事さ、すばらしさの思いを共有していくために、西栗倉村民も植林祭に参加させていただきました。この植林祭が将来、ラオスの皆様の幸せと、世界中の方々に支持されることを



願っています。」と青木秀樹村長からのメッセージを伝えた後、記念植樹として、近くの山で現地の方々と一緒に植林を行いました。

翌日は、ビエンチャン周辺にある林業・農業関連施設など、視察を行いました。

訪問した4名から報告をいただきましたので紹介します。

なお、紙面の都合上、文字数を限定させていただきましたので、思いや感じたことのすべてを掲載できなかったことについてご了承ください。



●村議会議員 田中 貞己

ラオスでの植樹祭に参加した報告をします。

ラオスは、赤道直下で昼夜毎日30℃を越え、とにかく暑かったです。また、交通規則がないに等しい状態で、ナンバプレートがない車が走っており、事故も多いようです。しかし、4日間ビエンチャンに滞在していて1度も緊急車両の音を耳にしません。なぜかという救急車を呼べばお金がすぐくかかるそうです。病気になるは大変です。病院が都市にしかなく、健康保険も無い国で、すべてお金が無くては診てもらえません。

沢山報告したいことはありますが、最後にラオスと西栗倉村が今後も親密に付き合える関係でありたいものです。



ラオスってどんなところ？

インドシナ半島に存在し、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、ベトナムの5カ国と国境を接し、日本の本州ほどの広さを持つ内陸国である。熱帯性モンスーン気候に属し、雨季（5月～9月）乾季（10月～4月）の2つのシーズンに分かれる。

4500Kmに達するメコン川はそのあいだ1800kmの長き区間がラオスを縦断する。また、国土の70%が森林だが、乱伐によりその30%が荒廃し、FSC（※）による森林再生を目指している。風景は日本の数十年前を思い出させるような国であり、インフラ整備などもまだまだで、道路に牛などが自由に歩いているような状況で、現在も日本や諸外国の協力を得ながら整備発展している国です。

※ FSC（Forest Stewardship Council、森林管理協議会）とは、木材を生産する世界の森林と、その森林から切り出された木材の流通や加工の過程を認証する国際機関。その認証は、森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなない、経済的にも継続可能な形で生産された木材に与えられます。このFSCのマークが入った製品を買うことで、消費者は世界の森林保全を間接的に応援できる仕組みです。

● 椎茸栽培

影石 江見 省三

私がラオスにかかわるきっかけは、1年半前にラオスから原木椎茸栽培の現場の視察があり、栽培指導についての要請があったことが始まりで、今回は植林祭へ参加依頼がありました。

まず、ラオス国に入り感じた事は人間性の良さで、争いは好まず「自然の中で生きた自信」に満ちあふれていました。そして日本に対する信頼感が強いと感じました。しかし現実にはグローバル化の波にのまれ、日本を含む世界各国が森林資源に目を付けて伐採し続け、山を丸裸にして採算の合わない奥地を残して去って行ったのです。

その現実をうれいた人々が7年前から森林再生に立ち上がったのです。ラオス国には植林に要する費用を出す余裕はなく、民間人が

それを支えているのです。そして今、毎年6月1日を国全体が植樹の日と決め、続けられています。裸の山が7年間で次々と再生し、西栗倉で販売する炭、薪に使われる木は、生



▲ 植林を終えて、農林技術センターにて

長が早くて堅いので、7年前に植林した木を炭焼用に使っていました。伐採から玉切りまで全て手作業で機械は使っていません。若い人の働ける割合が高く底力はすごいです。

今の日本人は、その原点を忘れていていると思います。西栗倉村の小中学生の若い人たちにもこういう経験ができれば、ラオスの発展の力添えになれば、これから先の生き方が変わってくると思います。ぜひ実現してほしいと思います



▲ 炭焼きがまを見学



●あわくらグリーンリゾート

森の村振興事業部 白岩 正

長期に渡る違法乱伐により緑豊かな山々の自然が破壊され、その森林再生を図るための植林祭であり、国を挙げてのイベントとなっている。木がラオスの資源として、白炭はもとより、家具・装飾品など加工技術にも優れた大きな産業となっている。植林祭には地域の子供も多く参加し、7種類の木を植林しました。7年から8年で商品化できる木に生育すると言われています。

ラオスの森林（もり）作りが成功するために、少しでもお手伝いできればと思います。

●教育委員会

神原 徹

ラオスでは、6月1日を「植樹の日」と定めています。実際には、日本で言う植樹ではなく、山に入つての植林です。首都ビエンチャンのホテルを朝5時半に出発し、車で3時間、現地の山に到着しました。

植林祭冒頭にラオス農林省副大臣の挨拶を聞き、続いて西栗倉村の紹介を英語で行った後、村長から預かったメッセージを読み上げました。植林祭には、倉敷や広島の間企業も参加していました。現地の子ども達はサンダル履きのまま山へ入り、一生懸命に苗木を植えていて、とてもたくましく、明るい子ども達ばかりでした。

西栗倉村から文房具や子ども用の古着を段ボール箱4個に詰め込み、持って行きました。ラオスの子ども達も大人達もとても喜んで受け取ってくれました。

植林祭現地への片道3時間の行き帰りに農村の風景を見て、かつての日本もこんな時代があったのだらうと想像しました。暑い昼間の時間帯は、隣近所が軒先に集ま



▲衣類や文房具をラオスの子どもたちへプレゼントしました。写真奥にはたくさんの子どもたちが待っています。

り話をしている様子や、赤ん坊を背負ったまま走り回って遊んでいる子ども達、バイクに3人乗り4人乗りで移動している様子など。子ども達がとても多いせいか、貧しい中にも寂しさや暗さは感じられませんでした。今の自分を考えたとき、少なくとも物の豊かさには感謝しなければならぬと思いました。

最後に、出発前子ども用の古着を提供くださったお母さん方と、英語でのあいさつを指導してくれたALTのマイケルマクファロンに、心から感謝を申し上げます。

ラオス

シエンクワン県知事ら

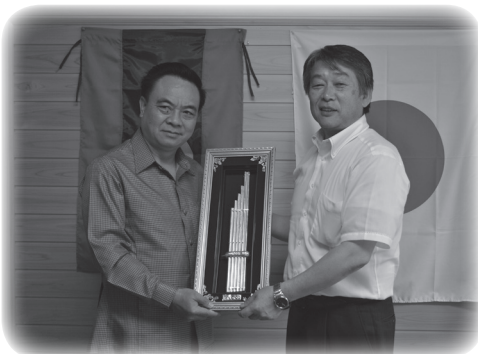
来村

7月2日（火）、ラオス シエンクワン県知事ら4名が西栗倉村へ来られました。

昨年11月に村長、議長がシエンクワン県へ林業等の施設の視察を行った際、知事が来日するときはぜひ本村を訪問したいとのべておられました。

そして今回、来日する機会があり、足を伸ばして西栗倉村へ来ていただきました。

今後も良好な信頼関係をつくり、交流を深めていくことを確認しました。



8月から『特別警報』の発表を開始します。

気象庁は、重大な災害の起こるおそれが
著しく大きい場合に特別警報を発表します。

気象庁はこれまで、大雨や津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。8月30日(予定)からは、より甚だしい大雨や大きな津波等が予想され、重大な災害による危険性が高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに「特別警報」を発表します。特別警報の対象とする現象は「東日本大震災」、我が国の観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした岡山県でも記録的な大雨となった「平成23年台風第12号」の豪雨等が該当します。

**特別警報が発表されたら、
身を守るために最善を尽くしてください。**

- 経験したことのないような激しい豪雨や暴風など異常な気象現象が起きそうな状況です。ただちに命を守る行動をとってください。
- 周囲の状況や市町村から発表される避難勧告等の情報に留意し、ただちに避難所へ避難するか、すでに外出することが危険な状態のときは、無理をせず家の中のより安全な場所にとどまってください。
- この数十年間災害の経験がない地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

「特別警報」が発表されないからといって安心することは禁物です。

- 重大な災害のおそれがあるときは従来どおり警報が発表されます。これまでどおり、最新の情報に注意するなど、警戒してください。
- 大雨等においては、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報等を活用して、早め早めの行動をとることがたいせつです。

特別警報は行政機関や様々なメディアを通じて伝えられています。情報収集に努めてください。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

お問い合わせ先

気象庁岡山地方気象台防災業務課 電話 086-223-1334



育もう！わたしたちの森と村

もいもいづれす vol. 4

企画・編集 産業観光課百年の森林構想推進係 TEL0868-79-2111

百年の森林事業は、森林整備だけではなく、森林資源の活用にも力を入れています。そのひとつとして、今年度から西栗倉の新生児に村産材でつくった玩具を贈る新たな取り組み「ウッドスタート事業」を開始します。小さいころから木に親しんでもらい、将来、地域を愛する心を育むこと、そして村産材の新たな活路を見い出すこと、それらが百年の森林構想の実現にもつながると考えています。



木のおもちゃって
こんなに楽しい！



「赤ちゃんのファーストイは地産地消の木のおもちゃから」
講演会を開催しました！！

このことは、森林のためのみではなく、子供たちにとってもさまざまなメリットがあります。

テーマは『活樹（かつじゅ）』。余りある日本の資源である森林を有効活用する手段のひとつとして、地域の木を使った玩具を、保育の場に取り入れるというもの。

東京おもちゃ美術館は、全国各地でウッドスタートの普及活動をしており、現在全国7市町村で実施されています。

この講演会は、今年度から西栗倉の新生児に、村産材でつくられた木製玩具を誕生記念品として贈呈する「ウッドスタート事業」の開始に先立ち、企画したものです。

先月、7月3日に、東京おもちゃ美術館の館長多田千尋氏をお招きし、木製おもちゃの魅力についての講演会を行いました。



▲東京おもちゃ美術館の多田館長のお話は、思わず笑ってしまう楽しいエピソードがいっぱいでした。

例えば、集中力が育まれる、コミュニケーション能力が身につく、また癒やしや安らぎを与えるなどの効果が科学的に証明されています。

講演に参加された方々は約20名。どなたも熱心に聞き入っていました。当日は、展示していた皆さんの木製おもちゃも大好評。

今後、西栗倉ではどんなオリジナル玩具が生まれるのでしょうか。乞うご期待です。



～森林整備の最新情報～



村内で行われている森林整備の進捗状況のお知らせ

百年の森林事業で実施している現在の森林整備箇所は次のとおりです。

- ・影石谷 4箇所（野鳥苑周辺） 間伐面積 28.91ha / 作業道延長 3,650m
- ・湯船 1箇所 間伐面積 21.88ha / 作業道延長 460m

今年度は、さらに10箇所以上の団地で施業を予定しています。周辺地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

しかし、山への投資はしなければ荒れてしまい、植林をした人工

いからだ。

景気低迷で不況の昨今では、将来を見越した消費や投資に意欲が出にくい。目先の利益を求めるようになり、将来の展望が見えないから。

草奔崛起 (3) 小坂田 直樹

林業でがんばる若手のコラム

良いが、山の安全等を犠牲にしてはならない。

林なら取り返しがつかなくなる。例えば大風での倒木や、大雨での土砂崩れ。川の水質の保全など、長い期間を考慮して対策を講じることが大切であり、一見余分に見えることが無駄とは一概に言えない。

まだまだある!!

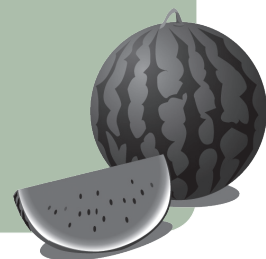
☆☆夏休みのイベント☆☆

森の学校でのイベントのお知らせです。
詳しくは（株）西栗倉・森の学校
(0868-73-0338) にお問い合わせください。

☆8月10日（土）
【スプーンづくり】先着20名
参加費 1,500円

☆8月12日（月）・13日（火）
【若杉原生林トレッキング】先着20名
参加費 おとな 1,500円 / こども 500円

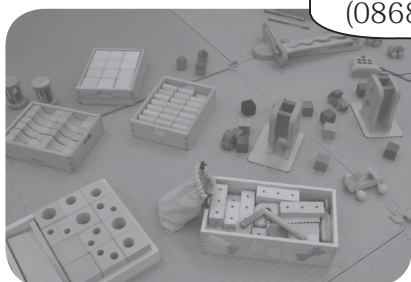
☆8月15日（木）
【ミツマタ和紙のうちわづくり】
先着順なし 参加費 1,000円



編集後記

大人になって木のおもちゃに触れてみると、懐かしいような気持ちがいってきます。そして、不思議なことに遊びたくなってしまおう！木の優しい感触と色合いは、世代を問わず愛されつづけるものかも知れません。そうだとすれば、それを生み出す森林も、未永く豊かであってほしいと思います。

ご意見・ご感想は、
役場産業観光課へ
(0868-79-2111)



第6回村民ソフトバレーボール大会

6月30日(日)村民体育館にて、西栗倉村体育協会主催の「第6回村民ソフトバレーボール大会」が開催され、男女混成4チームが参加のもと行われました。

白熱した大会の結果は右のとおりです。

優勝 中土居ガチ型 チーム
準優勝 別府オールスターズB チーム



優勝 中土居ガチ型 チーム



スポーツ トピックス

第25回村民ゲートボール大会

7月24日(水)、コンベンションホールにて、第25回村民ゲートボール大会が開催されました。

6チームによる熱戦が繰り広げられ、絶妙なチームワークを見せた、塩谷チームが見事優勝しました。結果は右のとおりです。

優勝 塩谷チーム
準優勝 中土居チーム
第3位 議会チーム
第4位 大茅チーム
第5位 影石チーム
第6位 猪之部チーム



『AED研修を行いました』

ヘルスボランティア委員の活動について紹介します。

7月16日(火)、美作市消防署大原出張所から5名の消防士さんが来てくださり、AED研修を行いました。最初は「心肺蘇生の方法」や「AEDの使用方法」などのビデオを見ました。

その後、人形を使っての心肺蘇生法とAEDの研修を行いました。

心肺蘇生は肘を曲げないで、5cmくらい押すように。垂直に圧迫するように心がけて…。



消防士さんの実演を見学した後、4グループに分かれて研修を行いました。初めて心肺蘇生やAEDを行う人もいましたが、消防士さんの丁寧な指導により、AEDを使ったことのない人でも不安なくできました。



消防士さんによる心肺蘇生の実演

パットは絵のとおり貼ってください。



この研修を受けて、倒れた人を見た時は「恐れず近寄って声かけをし、119に連絡を入れよう。」と話し合いました。

次回は「防災」について研修会を行う予定です。

あわくら大学

7月講座



7月17日のあわくら大学は、岡山県消費生活センター津山分室から佐藤素子相談員にお越しいただき「悪質商法から身を守ろう」をテーマに、被害にあわない研修を受けました。

最近多い被害が、注文していないのに商品が勝手に送られてくる送りつけ商法。業者から掛かって来た電話のやり取りなどを交えて、先ずその手口を聞き、その後被害にあわない心掛けや対応を教わりました。

【あわくら大学8月講座】

日 時：8月23日(金) 午前10時
場 所：あわくら会館大ホール
演 題：『国際交流あれこれ』
講 師：放送大学鳥取学習センター
所長 若 良二先生



幼

稚園だより



7月13日(土)に幼稚園で参観日・夕涼み会を行いました！
園児や家族の皆様を始め多くの方が参加して下さい、とても楽しい会になりました。ありがとうございました♪



子ども達の願い事
を書いた短冊で
す。
尾関さん、ありが
とうございました
た！！

さあ！魚をはなすよ！！



すごく早く泳いでいる！！

今年度も「武蔵青少年健全育成会」様
より寄付を頂き、ありがとうございました！！



待て待て！！
魚の動きが早くて、なかなか捕ま
られない…



PTA 役員の皆さんによる「夏休
みの約束〇×クイズ」



「あわくら太鼓保存会」の皆様によ
る太鼓披露！迫力満点の演奏に、子
ども達は聞き入っていました！

夕涼み会 夜店ごっこ

ありがとう
ございました！



幼稚園の茶道の時間に神原先
生のお手伝いで来て下さる筏
津の神原さん、引谷の平田さ
んから、あわくら大学・社会
見学のお土産を頂きました！
子ども達は大喜びでした♪

かき氷屋さん



駄菓子つり

子どもたちは、夏の夜の楽し
いひと時を過ごすことができました。

焼きそば屋さん



小串小学校（岡山市）との交流～3・4年～

小 学校だより

西栗倉小学校のキャラクター「あいちゃん、タッチャン」と森の仲間たちのキャラクターを用いた名札を手作りし、小串小のお友達にプレゼントしました。

・役場の方にカエルやイモリなど生き物について教わりました。楽しく教えてくださってありがとうございました。

・クマザサで笹舟の作り方を教わりました。原生林は、吉野川→吉井川→瀬戸内海につながっているので、うまく流れば、小串小の近くの川に流れていくかもしれません。



- ・沢を歩くとき、見た目より流れが強くておどろきました。
- ・川の水は思ったより冷たかったです。
- ・石にのると、グラグラして転びそうになりました。小串小のわかさんが助けてくれて嬉しかったです。



昨年度の『水でつながる学習』をきっかけに始めた小串小学校との交流学习。今年はその2年目になりました。6月27日には、小串小学校3、4年生13名と引率の先生3名が、西栗倉村にやってきてくれました。原生林・たたら跡の散策や沢歩きを一緒にしました。それぞれの場所で、西栗倉小4年生が、森について学習したことを小串小学校の皆さんにクイズも交えて説明しました。

そのときの様子を子ども達の感想と合わせて紹介します。



- ・アスファルトと土への水のしみ方の違いについて実験を交えて説明しました。
- ・杉とひのきは葉っぱやにおい、色の違いがあります。枝や材木を用意して実際に見たり、においを嗅いで違いを感じてもらったりしました。



- ・小串小の友だちと話をしながら食べた弁当はおいしかったです。
- ・たくさん話ができました。仲良くなれてよかったです。

10月28日には、西栗倉小学校の3、4年生が小串小学校に行き、海のことについて一緒に学習する予定です。

中

学校だより

1年生6名が閑谷宿泊研修に行ってきました!!

1日目 (13日)

西粟倉中学校1年生は6月13日、14日と閑谷宿泊研修に行ってきました。

研修の様子をお伝えします。

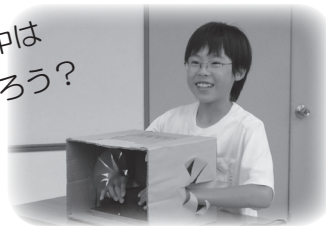


「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」足のしびれと戦いながら、大きな声で論語を読みました。



ブラインドツアーでは、目隠しをして班長の指示だけを頼りに、班で協力して山を下りました。

箱の中は何だろう?



2日目 (14日)



ゴシゴシ

鍋のすすを最後まで落とします。



野外炊事では、かまどに火がつかず、大苦戦しました。ようやく炊けたときは、真っ白なごはんに感動。あきらめずにがんばってよかったです。



なたで竹割りに挑戦!

6人寄れば文殊の知恵

これからも協力してがんばります。





子ども館だより

お問い合わせは

子ども館 279-2566

教育委員会 279-2216



勉強も



遊びも



**げんきっこクラブは学校の後、
安心して過ごすことができる場所です。**

げんきっこクラブ（放課後児童クラブ）は、放課後や夏休みなどの長期休業中、保護者が家にいない時間、子どもたちをお預かりする場所です。

子どもたちは宿題をしたり、みんなで元気よく遊んだりしながら、げんきっこクラブでの時間を過ごします。

地域の子どもの数も減り、放課後子ども同士で遊ぶことが難しくなってきましたが、げんきっこでは1年生から5年生までがお互いに関わりながら過ごす姿が見られます。

仕事で忙しい保護者のみなさんの希望に応えながら、子どもたちにとって第2の家庭のような、温かく、安心して過ごせる場所になるよう頑張っています！

**みんなと一緒に
とっても楽しい!!**



図書館へ行こう!!

今月のおすすめ本

『ミラクルうまいさんと夏』 児童書
令丈ヒロ子／作 原ゆたか／絵
穴を、なんでもうめてしまうウメコン。そうたとウメコンは世の中の穴を、おいしいものでうめていきます。ところが！?...熱くて面白すぎる真夏の物語が誕生!!

今月の新着本

一般書

- 『楽園の蝶』 柳広司／著
- 『泣き童子』 宮部みゆき／著
- 『高校入試』 湊かなえ／著
- 『いつやるか？今でしょ!』 林 修／著

児童書

- 『なつやさいのなつやすみ』 林木林／作 柿田ゆかり／絵
- 『ぼくはねんちょうさん』 サトシン／作 田中六大／絵
- 『3人のパパとぼくたちの夏』 井上林子／作 宮尾和孝／絵
- 『旅の絵本Ⅷ』 安野光雅／作・絵

☆おしらせ☆

《本の返却わすれていませんか?》

2週間以上借りている本はありませんか?特に人気の本は待っている人がいますので、早めに返却をお願いします。

《第149回直木賞作品入荷!》

直木賞受賞作品をはじめ候補作品もはっています。

《大活字本あります》

県立図書館コーナーには、大活字本といって大きな活字で読みやすい本が置いてあります。小さな文字が見にくくなってきた方にオススメの本です。この機会を利用して図書館にどうぞお立ち寄りください。

☆問い合わせ先☆

あわくら子ども図書館
西粟倉村影石33

こども図書館
教育委員会内図書係

TEL279-2116
TEL279-2216

開館時間：10:00~17:00
休館日：祝祭日、年末年始
8月のお休みはありません。



みまさかのくに
美作国建国1300年



美作国キャラクター

「かたみくん」

謎を解きながら

みまさかのくに

美作国を巡ろう

開催期間9月14日(土)～
1月31日(金)

作家「あさのあつこ」さんが、1300年の歴史・文化・風土、その魅力に彩られた美作国を舞台に書き下ろす初の本格的ミステリー推理小説「美作国 the ミステリー」。その謎は小説を読んだだけでは解けず、小説の舞台である美作国を訪れ重要なヒントを発見しなければならない仕掛けが施されています。

小説を読み、探偵となって美作国に出かけよう。

そして、このミステリーに仕掛けられた謎を見事解き明かしてください。



まずは、オリジナルミステリー推理小説

「美作国は謎に満ちて」を手に入れよう！

9月7日(土)より配布・HP公開

★デジタルブック

美作国建国1300年公式ホームページへアクセスしデジタルブックを読む。

<http://www.mimasaka1300.org/>

★小説本

無料配布先：岡山県内サークルKサンクス、美作地域10市町村の各市役所・役場・支所・支局・津山信用金庫全店。※冊数に限りがあります。

◆お問い合わせ先

〒708-0052

岡山県津山市田町37-5

美作国建国1300年記念事業実行委員会

電話(0868)35-3434

FAX(0868)35-3435

E-mail:info@mimasaka1300.org

<http://www.mimasaka1300.org/>



あさのあつこさん 美作市在住

1991年「ほたる館物語」で作家デビュー。1997年「バッテリー」(角川文庫)で野間児童文芸賞受賞。1999年「バッテリー2」で日本文学協会賞受賞。2005年「バッテリー」

全6巻で小学館児童出版文化賞受賞。2012年日本放送協会放送文化賞受賞。最新刊に「かんかん橋を渡ったら」「闇医者おゑん秘録帖」などがある。

★謎解きの旅に出掛けよう

小説の中で、主人公は2泊3日で美作国を旅します。皆さんも主人公になって、美作国を旅しよう。自動車で巡るのもよし、鉄道やバスなどの公共交通機関で巡るのもよし。

※公共交通機関利用の際は、時刻表や運行状況などをご確認ください。

★抽選で美作国の特産品が当たる

真犯人を探し出して応募すると、正解者の中から、美作国の特産品などが抽選で当たります。応募方法など、詳しくはホームページやチラシをご覧ください。

◆あらすじ

新進ミステリー作家・折井暁(おりいあきら)が、東京都内のビルから転落死する。

暁の死に打ちひしがれる妹・折井円香(おりいまだか)のもとに、暁からの小包が届く。小包の中身は暁が自らの死を予告し、その死は自殺ではなく殺害犯が存在することを伝える手紙と、一冊の手帳であった。

兄は「この手帳を持って、かつての美作国(みまさかのくに)と呼ばれていた地域へ行け」と、そして手帳には美作国エリアの3つの場所を書き残していた。

美作国は暁と円香が生まれ、幼少期を亡き父母と、祖母と過ごした故郷である。兄は、その美作国へ、故郷へ行けと伝えている。兄の言葉に導かれ、兄の死の真相、兄の殺害犯を突き止めるべく円香は美作国(みまさかのくに)へ旅立つ。

円香は、兄の残した3つの場所を巡り、兄の殺害犯を見いだすことができるか！

・・物語は、犯人が明かされないまま結ばれる。

西栗倉村採用試験

西栗倉村では、平成26年4月採用の村職員採用試験を次のとおり実施します。

◆募集職種・採用予定人員

- ・保健師 1名
- ・土木職 1名

◆試験日時・場所

1次試験日 9月22日(日) 9時～
いきいきふれあいセンター(西栗倉村影石95-3)

◆試験申込受付期間

7月23日(火)～8月23日(金)(土曜、日曜日、祝祭日を除く) 午前8時30分～午後5時。郵送による申込は、8月23日(金)午後5時30分までに到着したものまで有効とします。なお、郵送の場合は必ず簡易書留郵便で申し込みをしてください。

◆受験資格

「西栗倉村職員採用試験要項」にてご確認ください。

◆受験案内・試験申込書の配布について

受験案内及び試験申込書は、西栗倉村総務企画課で配布していますが、西栗倉村のホームページからダウンロード可能ですのでご利用ください。郵送による請求の場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、80円切手を貼った送り先明記の返信用封筒(定型内封筒)を同封して、西栗倉村役場総務企画課あてに請求してください。

◆申込・問い合わせ先

西栗倉村役場総務企画課 (0868) 79-2111
〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石2
ホームページ <http://ns.vill.nishiawakura.okayama.jp/>

「都会女子を嫁にもらおう!!」
～田舎に憧れる都会女子とお友達になれる大チャンスの2日間～

手をつないで山村ロールプレーイン

ゲーム、野菜収穫その場でバーベキュー、占い師による婚サルテイニング、初めての山道ドライブ、そしてドキドキ古民家宿泊・・・

のどかな山村に、都会の女性達をご招待。田舎の開放的な雰囲気の中、心が解き放たれた都会女子たちとたくさんお話しをしたり、連絡先を交換したり、はたまた再訪問の約束をとりつけたり・・・

これからは田舎が最先端の時代。田舎好きの女子とお友達になる貴重なチャンスをお見逃しなく!

◆開催日時 9月7日(土) 午前9時～8日(日) 午後3時

◆開催場所 美作市梶並地区一帯

◆参加資格 7月1日現在で20～35歳までの独身男性で出会いを求めている方。※結婚歴は不問。美作市、西栗倉村在住者及び在勤者に限ります。

◆募集定員 男性15名

※応募者多数の場合は、抽選にて決定させていただきます。ただし、在住者を優先します。

◆参加費 7,000円

※参加費は、事前振込が必要です。

◆内容 山村RPG、バーベキュー、山村ドライブ、占い師による婚サルテイニング、古民家宿泊等

※イベント内容、日程、宿泊先、参加費の振込先等の詳細は、参加者決定後、受託事業者から連絡があります。

※雨天決行

◆申込期間 8月1日(木)から8月20日(火)

◆主催 美作市

◆共催 西栗倉村

◆受託業者 山村エンタープライズ

◆申込方法 氏名、住所、携帯番号、年齢、職業、生年月日、生まれた時間(占星術用)、イベントに向けて一言を山村エンタープライズまで、電話、メールでお知らせください。

◆申込先 山村エンタープライズ

☎090-7894-4942
メールアドレス
sanson.share.house@gmail.com

◆問い合わせ先 美作市協働企画課

☎72-6631

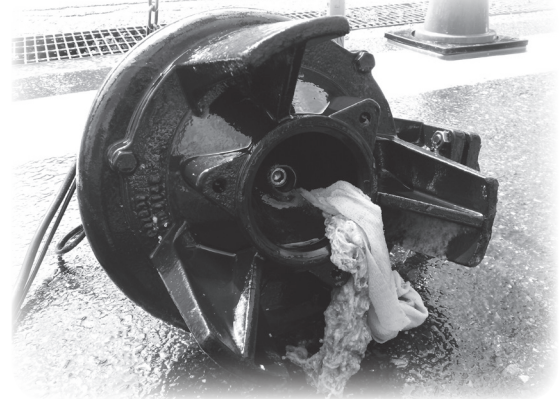
【担当：藤井】

下水道は 何でも流せる施設ではありません!!

最近、下水道施設にて異物による故障が多発しています。

平成25年度では異物による故障の出動件数が4件(7月末時点)と既に昨年度1年の件数を超えています。

下水道施設は、下水道管、ポンプ場、下水処理場で構成されています。



これらの施設は一刻も休むことなく働き続けていますが、タオルや下着等が下水道のポンプ管に詰まると、事故や故障などを引き起こし、個人だけでなく村民の皆さんの生活に影響を及ぼします。

下水道が、皆さんの生活を快適に保てるように、下水道の正しい使用をお願いします。

火災・救急の通報は119番へ

美作市消防本部では平成24年4月1日から119番通報の受付を津山消防本部庁舎内にあり、美作地区消防指令センターで行っています。ここで、必要により通報者の位置情報を受信する統合型位置情報システムや地図検索システムによって迅速に災害地点を特定し、各署所へ出動指令を出しています。

火災、救急などの通報は、119番通報をして頂いていますが、中には消防署や消防署大原出張所の固定電話に直接電話をされる方がいます。

この場合は、位置情報等の受信が出来ないため、災害地点の特定に時間がかかり、出動する隊員が電話受付をし、その内容を美作地区消防指令センターに連絡した後の出動となる為、かえって時間がかかります。

迅速な消防車・救急車の到着の為に、火災・救急の通報は、119番へお願いします。

→美作地区消防
指令センター



踏みだそう未来への第1歩! 自衛官(陸・海・空) 募集します

●募集種目

・航空学生 ・一般曹候補生 ・自衛官候補生

●受付期間

8月1日～9月6日

(自衛官候補生 男子は、年間を通じて行っています)

●応募資格

日本国籍を有し、平成26年4月1日現在で、18歳以上27歳未満の方

航空学生は、高卒(見込含)21歳未満の方

●試験日

9月中旬から下旬

(種目毎に試験日が異なります)

※尚、自衛官募集に伴う募集説明会を「津山出張所」にて随時行っております。

場所 津山市山下9-12 セイコウビル3F

(津山ハローワーク、東へ徒歩1分)

日時 土日祝日を除く 09:00～17:00

是非、お気軽にお越し下さい。

●お問合せ

自衛隊岡山地方協力本部津山出張所
電話 (0868-22-5637)

おしえてねんきん

「わたしと年金」エッセイ募集について

日本年金機構では、11月の「年金月間」に向け、広く国民の皆様から公的年金制度との関わりについてのエッセイを募集しています。

【テーマ】 応募者ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度との関わりについて、「わたしと年金」テーマにしたエッセイ

※ 公的年金の大切さ、公的年金との関わり、又は社会保障としての公的年金の意義などに関するエピソードを盛り込んだ内容としてください。

【応募資格】 一般、学生・生徒（中学生以上）

- 【応募要領】 ① 郵送又は電子メールで、日本年金機構「わたしと年金」担当あてにご提出ください。
- ・日本語で1,000～2,000文字以内とし、400字詰め原稿用紙の場合3～5枚、Word文書形式による場合は原稿用紙横書き（A4版、40字×35行）としてください。
 - ・氏名、ふりがな、年齢、性別、住所、電話番号、職業又は所属（会社名、学校名等）を明記してください。
- ② 内容は未発表のものに限ります。

【応募締切】 平成25年9月20日（金） 当日消印有効（電子メールによる提出は当日午後6時まで）
提出・お問い合わせ先

〒168-8505 東京都杉並区高井戸西3-5-24

日本年金機構サービス推進部サービス推進グループ「わたしと年金」担当

電話：03-5344-1100 電子メールアドレス：watashito-nenkin@nenkin.go.jp

無料調停相談会の開催

1. 日時 9月20日（金）

午前10時～午後3時

2. 場所 津山市総合福祉会館

（津山市役所東隣）

津山市山北520

（TEL 0868-12315130）

3. 担当

津山簡易裁判所所属

民事調停委員

岡山家庭裁判所津山支部所属

家事調停委員

4. 相談内容

（イ）土地・家屋・農地・山林・金銭貸借・

交通事故等の民事に関する諸問題

（ロ）離婚・その他家庭内のもめ事・

相談・扶養等の家事に関する諸問題

調停委員が調停手続きの利用に関する

相談に応じます。なお、訴訟、調

停等の法律判断に関することは相談

に応じられません。

◎ご相談を受けた事柄については秘密

を堅く守ります。

※連絡先

岡山地方裁判所津山支部庶務課

TEL 0868-12219326

北部高等技術 専門校訓練生募集

1. 募集科

電気設備科、木造建築科、

木工科

2. 募集対象 新規高等学校卒

業予定者

3. 募集期間 9月2日（月）

～10月25日（金）

4. 定員

電気設備科 10人

木造建築科 5人

木工科 5人

5. 試験日 11月8日（金）

6. 受講期間 平成26年4月～平成27年3月

（1年間）

7. 受講料 無料

（教材費などは別途必要）

8. 申込方法

所定の入校願書と、高等学校

において作成した就職者用の調

査書を添えて北部高等技術専門

校へ提出

問合せ先 北部高等技術専門校

津山市川崎953

TEL 0868-1261125



地域福祉推進のために...

社協だより

西栗倉村社会福祉協議会

279-2561

ゆうゆうハウス 279-2861

ひだまり 279-2100

★★★よりみち イベント情報★★★

7月1日(月) よりみちにて『こけ玉づくり』イベントが行われました。今年は、2年目で参加者も25名ありました。当日は、大茅地区の

井上節子さんに作り方を教えて頂きました。皆さん、自分の好きな山野草を選んで個性的な作品が出来上がっていました。よりみちに展示してあります！お気軽にお寄り下さい。



上手に出来ました。ハイ・ポーズ!!



次回イベントもお楽しみに……

★★★中学校の訪問がありました★★★

6月18日(火) 西栗倉中学校の3年生がゆうゆうハウスへ『修学旅行の報告』に来てくれました。

沖縄で学習してきたことをグループに分かれて『戦争の悲惨さや今の沖縄の現状等』を詳しく発表してくれました。

最後に、恒例になった三線の演奏を披露してくれました。

中学生のみなさん、ありがとうございました。



★★★民生・児童委員の訪問がありました★★★

7月16日(火) 「ゆうゆうハウス」と「小規模多機能ひだまり」に民生・児童委員の方々が慰問に来られました。利用者の方とお話をされたり、七夕の飾りつけと一緒にされ、とてもよい交流ができました。

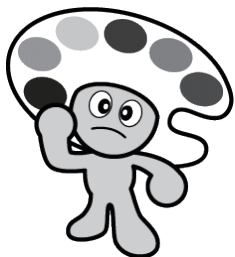
民生・児童委員のみなさま、ありがとうございました。



★★★2013夏のボランティア体験事業が行われます★★★

今年も村内の施設で中学生・高校生・大学生がボランティアを行います。活動を通じて、福祉やボランティアについて理解を深め、様々な出会いのなかから、新しい発見や「ともに生きていく」視点について考える機会です。今年の参加者は、13名です。

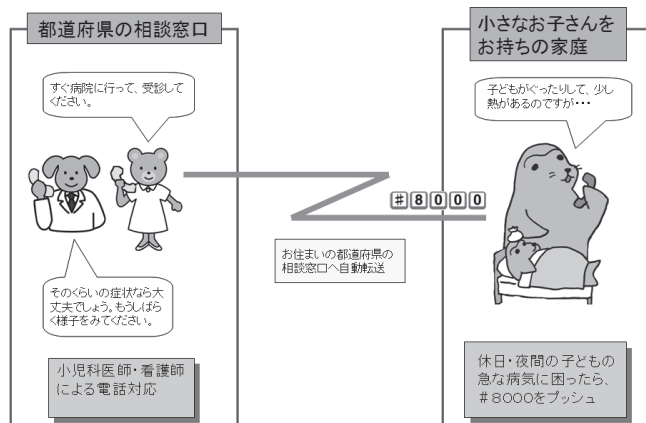
いろいろな経験をしてもらいたいものです。



子どもの急な病気に困ったら、まず！ 小児救急電話相談 #8000

★小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるものです。

★この事業は全国同一の短縮番号をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。



人の動き

平成 25 年 7 月 1 日現在

- 人口 1,552人(+4)
男 724人(+3)
女 828人(+1)
(6月中の異動：出生2人、死亡0人、転入7人、転出5人)
- 世帯 565戸(±0)

●お誕生おめでとう

- ・ 小林 ^{りゅうせん} 龍仙ちゃん 6月18日生まれ
(別府住宅)
お父さん 昌典さん
お母さん 有加利さん

善

意の窓 社会福祉協議会から

(平成 25 年 6 月 21 日～平成 25 年 7 月 20 日)

●お大事にしてください

別府	白簾	雄吉 様	本人	退院内祝
別府	白簾	五子 様	本人	退院内祝
大茅	金田	裕恵 様	本人	退院内祝
坂根	田中	裕之 様	本人	退院内祝

川柳栗の実

7月の句会から

天気予報に仕事の予定決められる
紫陽花を梅雨がきれいに磨き上げ
暑い夏梅雨が明けるとやって来る
梅雨明けは夕立連れてやってきた
クーラーより団扇の風が良いという
梅雨季節自由気ままな空模様
蜂の巣に蟻スプレーを吹きかける
予報士をせせら笑いのゲリラ梅雨
そよ風がそっと汗拭く良い天気
紫陽花が咲いて夜露を宿らせる
じゃが芋も蔓に似合った芋がつき
柿の実が豊年らしい話聞く
梅雨晴れ間畑の夏草追われ気味
予報では雨だったのに晴れた傘

◎8月の句会のご案内

8月19日(月)、午後一時三十分から

【よりみち】に於いて開催します

課題「自由吟」日出夫選

「喜ぶ」幸雄選

「笑う」治子選

「盆」吉男選

「席題」栄子選



幸雄 吉男 孝子 照子 栄子 みどり 早苗 つとむ 千代子 洋子 きくゑ 治子 静子 日出夫

むら フォト

探検クラブのそうめん流しは、そうめんの他にそば、パスタ、ウズラ卵、トマト、ソーセージ、スイカなど色々なものが流れてきて、大いに盛り上がりました。ヒメボタルは、途中のタ立のせいか残念ながら数匹しか見ることができませんでした。



【そうめん流しと
ヒメボタル鑑賞】
あわくら探検クラブ
7月23日（火）

「自分たちで作ったごはんおいしかったよ」 【ヘルスボランティア委員さんとの交流（幼稚園）】



7月10日（水）幼稚園の園児たちがヘルスボランティア委員のみなさんと調理体験で交流しました。おにぎりをにぎったり、キュウリやトマトを包丁で切ったり、初めて体験する子どももいましたが、ヘルスボランティア委員のみなさんのご協力により、楽しい交流になりました。



村PTA連絡協議会 研修会「眠りの脳科学」

7月6日（土）、保野孝弘先生（川崎医療福祉大学）による村PTAの研修会を行いました。眠りが子どもの成長や次の日の活動に与える影響、ぐっすり寝ることの大切さ、寝る子は脳も育つなどクイズやユーモアなど交えながらの楽しい講演会でした。

※1 休日急患医（美作市医師会）は、7月22日現在の予定です。
利用にあたっては医療機関に必ずご確認ください。

※2 納付期限にご注意いただき納付をお願いします。口座振替の方は、残高確認をお願いします。

今月の予定

月 日	行 事 等	休日急患医※1	ごみの日
8月11日	日	福井医院	
12日	月		可燃ごみ
13日	火		資源ごみ
14日	水		
15日	木	・成人式 あわくら会館大ホール 10:00～ ・夏まつり花火大会 村民クラブ 18:00～ ・年金相談（要予約） 美作市大原公民館 10:00～15:00	可燃ごみ
16日	金		
17日	土		
18日	日	青山医院	
19日	月		可燃ごみ
20日	火		びん類
21日	水	・ふれあい囲碁ボール大会 村民体育館 13:30～16:00 ・認知症サポーター養成講座 あわくら会館大ホール 10:00～11:30	
22日	木		可燃ごみ
23日	金	・あわくら大学／ あわくら会館大ホール 10:00～11:30	
24日	土		
25日	日	作東診療所	
26日	月		可燃ごみ
27日	火		資源ごみ
28日	水	・幼稚園、小学校、中学校 2学期始業式	
29日	木		可燃ごみ
30日	金		
31日	土		
9月1日	日	・防火防災の日	金澤外科医院
2日	月	納付期限：・国保税第3期 ・個人村県民税第2期 ※2	可燃ごみ
3日	火		かん類
4日	水		
5日	木		可燃ごみ
6日	金		古紙類
7日	土		
8日	日	美作中央病院	
9日	月		可燃ごみ
10日	火		資源ごみ
11日	水	・小児科健診	

広報

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石2
西栗倉村役場 総務企画課

TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125

印刷（資）谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組む岡山県西栗倉村との連携により実現した「森の町内会―間伐に寄与する紙―」を使用しています